

徳重・山崎ペア準優勝、日本小学生バドミントンフェスティバル

1/6 [Wed] ~ 1/8 [Fri]



埼玉県熊谷市で開催された日本小学生バドミントンフェスティバルで、多久スポーツピア（バドミントンジュニア）の徳重瓢・山崎琉生ペアが、男子ダブルス6年生以下の部で準優勝に輝きました。

日本小学生バドミントン連盟が主催するこの大会は、新型コロナウイルスの影響で中止となった全国小学生バドミントン選手権大会の代替大会として開催され、徳重・山崎ペアが出場した男子ダブルス6年生以下の部には、各地区ブロックから26組が出場しました。

悪天候で予定していた飛行機が欠航し、徳重・山崎ペアはコンディショニングの難しい中、何とか初戦に勝利。2回戦、準々決勝と少しずつ本来の動きを取り戻しましたが、決勝ではフルセットまでもつれるも惜しくも敗れました。

徳重・山崎ペアは「コロナの中、大変だったけど応援してくれた人に感謝したいです。もっとミスが少なくなるよう練習し、中学校では全国大会優勝目指して頑張りたいです」（徳重）、「去年は3位だったけど、順位を1つ上げて良かったです。これからも大会で上位を目指し、次は優勝できるよう練習を頑張りたいです」（山崎）と大会の感想を話しました。

▲日本小学生バドミントンフェスティバルで準優勝に輝いた徳重（右）・山崎（左）ペア



多久消防署が感謝状を贈る

1/12 [Tue]

多久消防署は、昨年12月に西多久多目的運動広場で開催されたサッカーの試合後に倒れ、心肺停止となった仲間を助けた4人に、感謝状を贈りました。

表彰されたのは日吉洋一さん（小城市）、香田徹さん（佐賀市）、古賀三知雄さん（佐賀市）、鈴木文理さん（佐賀市）。4人は倒れた仲間を発見すると119番通報し、協力し合って心肺蘇生とAEDでの電気ショックを実施。救急車が到着するところには心拍と呼吸が再開し、会話が出来るまでに回復させました。

多久消防署の柿内信一郎署長は「大変勇気ある行動に心から敬意を表します。ありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。



▲感謝状を手にする、前列左から日吉さん、香田さん、古賀さん、鈴木さんと柿内署長（後列中央）

多久聖廟への参道を照らす光

12/15 [Tue] ~ 1/15 [Fri]



▲合格の願いを込めた五角・合格の門のトンネル



▲イルミネーションがきらめく多久聖廟への参道

多久聖廟周辺を照らす「多久聖廟年末年始イルミネーション」（主催：多久美化クラブ）が行われ、約10万個の電飾が聖廟への参道を彩りました。

今回は新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、規模縮小となりましたが、聖廟への参道では竹灯籠が足元を灯し、木々に飾りつけられたイルミネーションが訪れた人を迎えました。また、合格祈願の「五角・合格の門のトンネル」もライトアップされ、市外からの来場者は「初めて多久聖廟のイルミネーションを見たがとてもきれい。五角の門をとったので無事合格できそう」と笑顔で話しました。



YouTube で動画が見えます！